

金瓶長話

和書門	
二七六〇	號類
二五	函
二	架
三	册

195

內閣文庫	
二六七六〇	和書類
二二	函
三	册
二	架

隨筆 七ノ一

內閣文庫	
番號	和 26760
冊數	3 ( 1 )
函號	212 195

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

G Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak



金峩山人病間長語卷一

九二十三則

淺草文庫

病夫カ師ハ熊峰先生川濟之字魯叔トスル  
 紀州人ナリ豫西條侯ノ紀室<sup>主</sup>ノ先秀觀齋府  
 君香山ニ在シ時先生モ百人街<sup>主</sup>アリケレハ因テ師  
 トシ事ル<sup>ト</sup>ヲ得ル<sup>ト</sup>一歳餘ナリ先生毎ニ病夫ニ語  
 リ玉ヒシハ紀州ニ陰山源<sup>カケ</sup>七トスヲ博物ノ君子アリ此  
 ハ堀川ノ從ニシテ仁齋先生ノ吾家千里ノ駒ナリト  
 テ賞歎セラレシ人ナリ<sup>カ</sup>源七ノ常ニ活レシハ吾幼時  
 ヨリ進士及第ヲセント心掛テ學問ラシク<sup>カ</sup>トスレタ

今汝小子等モソノ心ニシタキモノナリト有リケル  
ハ病夫モ幼時ヨリ念々コレヲ忘レズ学ビシナリ今  
日ニ至ルニテ一疥長アル非レト身ヲ華人ニ混ス  
ト口舌ヲ吞テ手指ヲ用ヒ何ノ不自由ナルトモ有レ  
ニト思ハルハ誠ニ先生ノ惠ナリ此ハ病夫ガ身  
ニ驗アルトシハ諸君モ斯アリクキモノナリ立志  
ハ大ナル程ノトハナシ及テハ彼邦ニテハ道ニ待ヒ  
誰レセヌ者ノ無キト故ニ学者ノ卑スルトモ有レト  
我知ノ学者ハ老大ニ及ニテ身ノ華人ニ成リ得ヌモノ  
多年改メ斯ハムフナリ及テ身ノ義ノ詳ナリハ病

夫ガ著セル經義折衷ノ附録ニ見ヘタリ

○諺ニ論語ヨキノ論語シラズトエフ語アリ儒者ノ  
無狀ナルヲ介スナリ此モソノ昔シ古垢ナ老弱ナ  
トカエテ出セルトニヤアラシ經書續メハトテ一疵モ無キ  
人ニナラレル理ハナキトナリ然ルニ讀ニス者ハ讀ヌ  
故ニコレホドノ惡ハアルヘキ筈ナレト讀シ人ハサバカリ  
ノ小過モアルベクアラズナトエルハ何如ニ儒者ナレバトテ  
餘ニ重荷ヲ負ハセタル口頭タヒ今孔子ノ出テ至ハ  
ニモソレ程ノ責ハアルニト思ハル且論語ヨニズノ  
論語シラズヨリハ論語ヨキノ論語シラズガ讀タハカ

リモノサリナルベシト思ハルスレバ讀ヌ人ノ使  
ヨキニニ出セル語ナリ然レ此ハ暫ク吾人ノロニ  
クイシテ言フノ諸君ハ論語ヨリノ論語シリニ  
成リ玉ヘ此ニ付テ病夫ガ懺悔バナシアリ今病ノ  
間ニ從テ長語セシ病夫ガ能峯先生ニ事ヘ時ニ  
交トスルナシ先生ト對スルノ外ハ戸ヲ閉テ書ヲ讀  
ニ毎事小心ナリキ後ニ青山ヨリ都下へ移居セシ時サ  
ル名家ノ門人何某ト云フ人ヲ始テ識ル人ニ成レリ  
ソノ人病夫ヨリ長スルヲ十七八歳ガリ忘年ノ知  
ヲ受クフノ學子トスル所ヲ尋スレハ左氏曰馬子長閑元

天寶陽春白雪紫氣中原ソノ行フ所ヲ見レバ  
山陽諸賢ノ人トナリヲ慕トヤラズテ振達不  
羈ト稱シテ飲酒廢事ヲ風流ノ第一トナシソノ  
言フ所ヲ聞テハ意氣慷慨儒ニシテ俠ナル者ナ  
リトスソノ時ニテコラ病夫年僅ニ十七八歳頭ニバカ  
ソ血氣ノアル比ナレバコレヲ面白キ事ト思ヒ容氣  
ニニカセテサバギ立チソレヨリシテハ風花雪月ニ  
雨舎風流ナト稱シソノ學問ト云フモ取ルニ足ラス  
時様ノフニテ晋俗ノニ子ト云フモ皆ナキ前勝手ノ  
丁ニテソノ急氣慷慨ハ誠ニ酒杯ノ間ノイキヅクノミ

市井七頼ノ後ヲスル<sup>ニ</sup>異ナラズカノ名家ノ門  
人ノ病夫ト親キ人モ出處<sup>ニ</sup>於テ議ス可キ<sup>ト</sup>ア  
ルハ忘ナリテコ<sup>ニ</sup>述ガタケレ<sup>レ</sup>大慨<sup>ニ</sup>ハフト推  
量シ玉へ後數年官ヲ罷メ身羈絆ヲ脱シタレハ  
イヨク放達ニ成リトアリ人生ハ適意ヲスルカ第一  
蒲々落々ノ人トナラト忠ヒ田間ニアレハ田夫野  
人ト交リ都下ニアレハ酒樓妓舍心ノユク所ニカセ  
テカノ陽春白雪モ唱ズ山陽諸賢モ擬セズ意氣  
慷慨モ言ス文道ハ荒レ親戚ハ絶シ冬道達游放シ  
又時トシテ追呼<sup>テ</sup>索通<sup>ノ</sup>モノニ困ラル<sup>ト</sup>祝京兆ノ如キ  
オレヨニテアケユル

「モアル」<sup>ト</sup>四五<sup>年</sup>意ニ適スル<sup>ト</sup>ハ過シタリ<sup>ニ</sup>夕前ノ  
容氣ノ盛ナル時ノ如キモ非ズシカレ<sup>レ</sup>晋俗ノ氣  
シミ<sup>コ</sup>ニ朽タル木糞土ノ糝ニナル<sup>ト</sup>ハ名家ノ徒ニ交  
リシヨリモ甚シ自者シテ心ニ愧テ因テ自新スル<sup>ト</sup>  
アリ此レ吾志ノ固カラス故トハ之ヒナラ又習シカ  
ラシムル<sup>ト</sup>モアル<sup>ラ</sup>シ白壁モ微瑕ナキホドノ<sup>ト</sup>ハナシ  
況ヤ白壁ナラザルモノ微瑕ニ非ル<sup>ト</sup>ヤ人ハタヒ  
有過<sup>チ</sup>地ヲ踏メハ改メタリ<sup>レ</sup>吾志ニ安ンセヌ<sup>ト</sup>アル  
モノナリ南容三復白圭實ニ有ガタキ<sup>ト</sup>ト覺ユ諸君  
モ願クハ儒者トナリ玉へ文人才子ト呼ハル<sup>ト</sup>

ナカレ  
○病夫ハ原醫家ノ子ナリシ故ニ少小ノ時ハ醫家ノ  
書ヲモ讀シテナリ始ルニ行陰陽臟腑經絡ノ説ヲ  
攻メシニソノ事紛冗ニシテ歸一ノ説ヲ得カタシ此ヲ  
左傳載スル所ノ緩クハ和ニノ言ナトニ比スレハソノ言大ニ  
相異アリケレハ私心ニ竊ニ疑フテ久シク後今世ノ  
右チトヤラズフ香川子ノ藥選カクハ附録ヲ觀テ貝原カクハ荻生ノ  
ニ先生ノ言ニ參シテ頗ル疑モ破レタリ最後ニ吉益  
氏門人ノ著セハ醫斷ト云フモノヲ見シニ快ニ過タル  
一香川ヨリモ甚シイヨノ爽然トシテ歸一説ナシト思

ヘリ所詮方伎吾オノ及ヌ所ト思斷テコレヲ先考  
ニ謀リシニ兒ノ不敏ナル何ノ謀ル一カアラシ人ハ各  
能不能アルモノナド兒ノ不能ナルハ父ノ強ル所ニ非ス  
先考ノ玉ヒシヨリ精ヲ經藝ニ專ニスル一ヲ得タリ  
今日ニ至ルニテ学成ル一能ハサレモ方伎ノ間ニ處テ  
人ヲ誤ラサルハ吾文ノ訓ナリ病夫後来ノ一陽春白  
雪ノ徒トナリテ方伎ヨリモ下レル一ヲシテ儒考ナ  
ト世ヲ胸モハ何ノ面目アリテ天地ノ間ニ立テ地下  
ニ先考ニ事ル一ヲ得ンヤ夕願クハ諸君モ志ヲ合  
セテ經藝ノ一ヲ脩ムベシ今ノ百工ニモヲトレル儒

者トナルトナカレ

○商トナリクキ農ノ農ヲヤシテ商トナルヲアタハズ  
タニ々商トナリ得ルモ必ス本義ヲ折シテ生業ヲ失  
フ様ニナルト自然出来スルハ皆ナ天職ト云フ  
ヲ知ラズシテ此ニ履ク故ナリ上ハ天子ヨリ下ハ庶  
人ニ至ルニテソレクノ事アルハナ天ヨリ命セラレ  
テ改易スルノナラヌ職分ナリ小人ハ敬天ト云フ心  
ナケレハ守ルノヲ知ヌ些ノ窮困ヲ得レハ驥ニ業ヲ改  
メテトヲ願ヒ改メテイカ子ハニタ心ヲ轉シテ人ヲ羨ミ  
ナレノハテハ終身ヲ坎<sup>カニ</sup>標<sup>ヒ</sup>シテニニフ<sup>カニヒ</sup>ト成ルナリ世ニ

性質不敏ニシテ業ヲナサヌモノアルナリニタマニ文  
字ヲ讀ミヲホヘルヲ得ルモ此モニタ天ノ己ニ命  
セラレシ職ハカト心得テ材アルモノヲ教育シ學習ノ  
弊ヲモ矯ムヘキニウカミト明未浮靡ノ事ヲ諒シ  
テ鼻ト下ノ長イ儒者ハニナ天賦ノ人ナリ畏ルヘ  
シヲソルヘシ

○学问ハ山林獨善ノ一ニモ非スニタ弄臣<sup>ケラゲ</sup>侏儒<sup>ケラゲ</sup>ノ  
俸ナルヘキニモ非ス昔ノ理学者流ハアニク枯  
草ナル心ニシテ山林士ニ墮テ今ノ古文辭家ハ太  
ク達ニ過テ幫間トモトシフノ弊ノ起ル所ヲ考フ

ルニミナ經濟ノ二字ニ志ナキ改ナリ。諸君此ニ於テ  
心ヲ用ユベシ。此レ學問大關鍵ノ所ナリ。シカレト  
今時ノ陽春白雪トモガ聞ヒタナラハ隣ノ疵氣ヲ頭  
痛ニ病シテイラヌヲセハト笑フナルヘシ。

○人ヲ容ル、ト云モ難シ。然レトモ人ヲ容ル、ト能ハサ  
ルモノハ教訓モ事業モ立ツベキ道理ナシ。病夫世ノ  
人ヲ容ル、ト能ズト云フモノ見ルニ皆ナ禮法ノ士ノ  
ミナラス。胃中小狭好悪ノ偏ナル人ナリ。ソノ能ク  
人ヲ容ルト云フハ身ニ檢束ナキ放縱ノ人ナリ。故ニ  
容カルハ容サルニアラズ。己ニ合ヌモノヲ惡ムナリ。能

容ハ容ルニ非ス。己ニ檢束ナキナリ。實ニ能ク人ヲ容  
レハ何事ノナラサランヤ。唐虞ノ君臣孔門ノ七十  
子ノ親キ、ト家人父子ノ如シ。愷悌君子ノ事  
ハ必シモ儼然タルノミニハ非ズ。

○材ヲ育スル、ト云フ孟子モ天下三樂ノ一ニ置カレ  
シトナリ。今ノ學者ハ教育ノ志アルモノハ貪ニシテ  
アタバズ生徒ヲ熟ニ育スル、ト云フナル人ハ身軀一  
トハニソコミテヤレ米が高ヒハ薪カヤスイト云フ  
テソノ所ハ夢ニモ必ツカズ。故ニ今ハ窮士ヲ育ス  
ル儒生ナシ。富メルモノト云ヘハ諸侯ヲ除ク之外ハ



候国ニ仕フル武吏カ又ハ醫者富商ノ類ニナ斯  
文ヲ以テ日子ヲ消遣スルノ徒ナレハ事ヲ成セルモ  
ハ希レナリ長嘆息ヲナスベキニ非スヤ官禄アラ  
シ人ハ此ハ心ヲ附ケ玉ヘ

○魏晉以下ハ師弟子ノ別ナシト云フハ唐ノ柳  
宗元カ始テ之ニ出セルトニテ韓退之ガ師說ニ抗  
シテ作レルモノナレハ頗ル快ニスギタルトナリ病  
夫モ先年師辨ヲ著シテ梓行セシモ柳子ニ擬タ  
ルモノナリ一時ヲ激シ弊ヲ矯ルトヲ專トシタル  
ナレト今ニ至リテコレヲ思ヘハ觀ル者病矣

ガ意ノ在ル所ヲ察セスシテ生シノ義ヲ害シ名  
教ヲ損スルトモアラヤト恐ル心アリ幸ニシテ  
南芝七間街ノ災ニ祝融氏ノ神集ニ忝トリ然  
ト人ノ患ハ好テ人ノ師タルニ在リト孟子モ云レ  
タルナレバ今時ノ学者ハ心得アルヘキトナリ病  
夫カ如キハ農タルベキカモナク高タルベキ財モチ  
クエタルベキ伎モナケレハ僅ニ生徒ヲ教授ス  
ルニテ士タルトヲ全スト云フヘキニモ非ス然レト  
費ヲ執テ未竭シコノ文ヲ行事ニ施サントスル  
者ハコナ授業ノ徒ナリ我カ師ニ自處スルニ

非ルモ彼レ又此ル下友人ノ如キニスヘキニモ非ズツ  
ノ錢ヲ以テ講説ヲ聽ノモノハ皆ナ我ト交易  
スルナリ何ノ師弟ト云フ下カアラシ世ノ心得タ  
ガハタル諸生ハ淳屠氏ノ斯又ヲ好テ已ニ親ム  
モノナドヲ門人弟子ト稱シテ倨傲ナ顔色ヲニ  
テ無禮ナト咎ルモノアリ大イニ耻ツベキ下ナリ  
畢竟ハ諸生ヲ率ルカモナク諸生モ服セズタバ  
コノ間ニテ息ヲ吹クハカリノ樂ナレハナリ  
○異姓ノ人ヲ養フテ義子トシ又ハ没後ニ相識  
ナラヌ遠境ヨリ飄泊シ来リ在ル者ヲ請フテ

後トシテソノ祀ヲ奉ゼシムル下國俗ナリ古ノ  
律ニ異姓ノ子ト成リテ後ニ改メテ本姓ニ復  
スルモノハ禁スル所ニアレハ後來ノ下ト見ヘタ  
リ神ハ非類ヲウケスト云フ語ニアタラ子氏人情  
ノ已ム下ヲ得ザル所ヨリ出テタル下ニテ朱子文  
集ナトモ見ヘタルハ後世ハ中華ニモアリシ下ニテ  
名儒碩師モユルシヲカレタル下ナリ我邦ノ儒  
先ニモ異姓ノ人ニ養ヘタルモ有リ異姓ノ子ヲ  
養フタルモアレハ養フモ養ハルモ非トスベキハ  
アラ子氏諸君ハ異姓ヲ冒スニシキト思ハルベシ

ソノワケハ人ノ姓ヲ冒スアラハソノ義父ハ必ず  
我ヨリ富メル人カ禄アル人ナリ一人ノ諸生ノ  
身上上人送リカ子テ窮困セシモノガ急ニ位禄ア  
ル身ニナレハ志操ツヅルモノナリ

○諸生遠方来ノ孤獨窮困旦夕ヲ支ヘカヌル所  
ノ艱ニ衆シテ人ノ勸ムモノアレハ遂ニ志操ヲ  
折ヒテ醫ト成リ或ハ他姓ヲ育シテ侯国ノ小  
吏ナト成リテ事ヲ遂ケザルモノ多シ惜ムベキニ  
アラズヤ家ニ老幼アリテ養育ノ及ヒカヌル者  
ハ子カハタフナカラ業ヲ改メ操ヲ折クフモアルベシ

年少諸生ノ孤獨ナルガ窮ニ夕ヘ又トエフハ餘ニ  
口惜キフナリ人ハ忍ナケレム事業ハ支タモノナ  
リ今テソノ然ル所以ヲ考ルニシテナ悪衣惡食ヲ恥  
ルヨリシテ起シルフナリ昌平ノ代コトニ都下ナ  
ドニ居ルモノハ何ヲシテモ兩三カノ家テ育ナラレ  
タトエフフハアルニシ況ヤ一人ノ身ヲヤコトラス  
ルハ辱シコレヲスルハ見苦シトエフ心ヨリシ  
テツイニ志ヲ失フフニハナルナリ凡士ノ郷ヲ離  
禄ヲ喪スルモノハソノ日ヨリシテ溝壑ニ轉スル心  
サヘアレハ病ヲ患ヌルフナク貪ヲ恥チサレハ業ト

スルコトハ夥シ何人志ヲ折ク下カコレアラシ

○孔子モ喪シテハ速ニ貧ナラシト欲ストノ王ヒ  
タレバ貧ハ處士ノ恥スル所ニアラス況ヤ今ノ士ハ  
官ヲ以テ家トスト但来子モイワレタレバ官ヲ失ハ  
家ナキモノトヒトシク願ハシキコトハ農賈ノ間ニ居  
ズシテ士タルコトヲ全クシタキモノナリソノ士タルコトヲ全  
クセシニハ各ソノ能ク得タル所ヲ人ニ施シテ一日ヲ  
資給スルコトヲ得ニヨリ外ハナレソノ業ハ偏業賣  
藥賣チ賣講モ皆ナ為スベキノコトナリ士ノ失意  
ナルモノハ何ノ恥ルコトカアラシ然レモ心モソレニ落チ

果テハ贏利ヲ求メ錐カノ末ヲ争ヒ吾カ本業ヲ忘  
ルナラハ商賈ノ次ナルモナリ

○古ノ講ハ講習ニテイニエフ物ノナラシラスルコ  
トニテ互イニ茂論ナトスルヲ講ト云フ宋ヨリ以来  
ハ文ニ強テ悦信スルコトヲ講ト目ケタリ但来十ノ  
講釋ハ大ダ學者ヲ害ストムハレシモ昔ノ闇齋  
家ノ諸老カ此レヲ一大事回縁ト心得テキリ口上  
ニテ金華殿上ノ語ヲナシテ夕ニ席上ニテラ午ア  
クコトノ心カケテ文辞ノナトヲルスニ成リテアル  
モノヲ之フタルナリ今ノ国字解ヲヨム様ナ講釋ハ

ソレニハニサレルモ人ナレ氏講ハ文面ノサハケルバカリ  
ニテ文章ノ意味照應脈絡ハ言ニテハ説キ盡サレ  
ヌモノナレバ其レハ聴久人ノ勤メニアルコトナリ世ノ  
講テ輕シクスレニ易ルニ會讀ト云フコトヲ以スル  
人ヲ觀ルニ師ハ傲然トシテ見臺ニ向ヒ弟子ハワレヲ  
圍繞スソノ集レル人ヲ見ルニ淨キニ出ルニモ三尺  
カカリノ脇差ヲサシタル取履ヲ供ニツレルヨウチ醫  
者ノ子ヒロキ肩衣ヲカケ袖ロストキ服ヲ着シ長脇  
差ヲ直<sup>ニ</sup>ツキトウシクヨウニ差タル御用足ノ町人クモ  
見テモ恐ロシカル様ナ上品ナル武士紫縮緬ノ袂子ヨ

リ香袋ノ臭ノウツクタル本ヲ懷中ヨリ取り出シ蠟石  
ノ朱研華製ノ筆墨ナト種々ノ靈寶ナラズクテ  
讀ソコナフニイト顫声ニ成リテムリニ高ク讀上ケ一  
節スシテモ一段ノリテモサシテ何ノギシモナリヨ  
イヒキデ子ヲ正シ句ヲ改メ檢發デモスルバカリニ  
テソノ内コレハ聞ヒテモ見タシト思フモノガ十  
人一人アルニモセヨ側ナル人ノ若モコレ程ノコトヲ  
モ知タ人カト思ハレシカト心ニ恥テ黙シソレヨリ以  
下ハ十ガ十ガラスニ子バ聞ケバ皆ナキカ子バナラ  
ズシテモ佗人ニ對シテ面倒ニモアラシカト嫌シ仕組

ノシレヌ狂言見タ氣ニ成リテソレギリニ願ラ  
サゲテライトニ申シテ歸ルコトナリソノ夕ニ  
切テストムフテモトフテ知レタ明未ノ人ノ事ノ  
跡ナド著ノ轉レタホドノコトヲ大ソウラシクヤレ  
コノ時ハ千鱗ガカウシタソノ時ハ元美カユウデト  
テ論スルモサリト無益ナルコトニシテ講釋ニ  
モヲトレルコトナリ

○周齊氏ノ講ハ學者ニ害アリト雖モ今時一種ノ  
講說ノ惡ムベキアルハ唐詩明文ナド講ズル玄宗  
ハ梅幸貴妃ハ路考元美ハ十節敬美ハ五節ナドテ

泣ク所ハ泣声眼ム所ハ眼ム態ニテ黃色ナ声ニ成  
リテ辰巳アガリニサハギ立テ聞クモノヲ笑セ  
願ヲ解クト覺ヘテ居ルモノアリ甚シキハ經ヲ講  
スルニ聖人ノ言ヲ侮リ顔子ハ孔子ノ龍陽ニテ  
モアルヲナド出カセニ出未口ニズフ斯ノ道ノ  
賊アルナリコレヨリカノ金華殿カハルカニニシテ  
之我モシ異日幸ニシテ志ヲ得バ彼等ガタメニ  
請テ東ニアルモハ汚氏西ニアルモノハ朱澤氏  
ト姓ヲ賜ハシメシ諸君ノ輩ト伍スルコトナカレ  
○我邦ノ學ハ中華ノ學ヨリ難キト倍セリ

中華ノ学者ハ中華ニ限ケレリ我邦ノ学者  
ハ知ヨリ<sup>其</sup>國字ヲ習ヒ<sup>其</sup>拘朏旁<sup>其</sup>記ノ讀ヲ授カリ  
其ヨリ<sup>其</sup>レテ彼邦ノ事ヲ知リ<sup>其</sup>彼邦ノ辭ヲ脩  
シ誤ナク<sup>其</sup>テニ様ニ成サントスル<sup>其</sup>トナレハ先ツ已レ  
ガ身ノ華人ニ成リ得子ハ<sup>其</sup>イカヌ<sup>其</sup>トナリ況マ  
ヨク華人ニ成リ得タル<sup>其</sup>モ又我邦ノ事ヲ  
知ラズ<sup>其</sup>ハ学フ所モ<sup>其</sup>ミサ無用ノ長物ト<sup>其</sup>病  
夫當世ノ学者ヲ觀ルニ<sup>其</sup>彼等ガ<sup>其</sup>ロスル<sup>其</sup>左氏司馬  
子長<sup>其</sup>コノ昔<sup>其</sup>ハレ子<sup>其</sup>明未ノ體ヲ摸放ル<sup>其</sup>トハ得  
タル<sup>其</sup>モノモ<sup>其</sup>ア<sup>其</sup>リ<sup>其</sup>然<sup>其</sup>氏無實ノ<sup>其</sup>ト<sup>其</sup>古語ニ取付<sup>其</sup>テ

云フ<sup>其</sup>ト<sup>其</sup>脩辭ト心得テ今日ノ<sup>其</sup>有用ノ語ハ<sup>其</sup>イ  
カ<sup>其</sup>ナ事<sup>其</sup>雅語<sup>其</sup>テモ俗語<sup>其</sup>テモ出来<sup>其</sup>バ<sup>其</sup>ゴソ<sup>其</sup>偶<sup>其</sup>フ<sup>其</sup>ノ  
有用ノ語ヲ成セル<sup>其</sup>モノハ<sup>其</sup>左氏司馬子長<sup>其</sup>ヲ云  
フ文章ニ比スレ<sup>其</sup>ハ<sup>其</sup>二度<sup>其</sup>ビツク<sup>其</sup>リ<sup>其</sup>ナレ<sup>其</sup>バ<sup>其</sup>身ノ華  
人ニ至ル<sup>其</sup>ハ<sup>其</sup>言カタシ<sup>其</sup>然<sup>其</sup>テ<sup>其</sup>バ<sup>其</sup>國吏ノ事ヲ知リ  
古今ノ變ヲモ考ヘタル<sup>其</sup>人カト思ヘ<sup>其</sup>ハ<sup>其</sup>郡縣封建  
何ノ異カアル<sup>其</sup>律令格式<sup>其</sup>夢ニモ見ズ<sup>其</sup>ヨイヒキ<sup>其</sup>テ  
太平記ノ類ナレ<sup>其</sup>ハ<sup>其</sup>此<sup>其</sup>ニ<sup>其</sup>和<sup>其</sup>人トモナシ<sup>其</sup>ガ<sup>其</sup>タシ<sup>其</sup>和  
ニモ非ス<sup>其</sup>華<sup>其</sup>ニモ非ス<sup>其</sup>當<sup>其</sup>今ノ学者ハ<sup>其</sup>何<sup>其</sup>レノ<sup>其</sup>人  
ナリヤ

⑩國初以來性理家ノ学盛ニ行ハレリ。初ノホ  
トハ眞ノ下ニテモアルラシ。毛利字都宮ノ輩  
イテ、ヨリシテ。龍頭俚諺專ニ行ハレ。趙三季  
四五ニ沈六ノヨト見テ會スルヲ成リケレハ  
タレチテ粟ノ心ニ成リテ未流ヲ汲テ本源ヲ  
尋ヌルモノナレ。仁齋祖来ノ二先生憤ヲ發シテ  
コノ弊ヲ矯ラレ。爾来三十年。和訓ナキモノニ  
テ書ヲ讀フニ成リス。コシハ弊風ノ改ニレリ  
ト覺ヘシニイツトナリ。看々漸々ニ元ノモク細  
ニクナクヘリ。アレバカリノ絶句解ニモ未書ノ二

三部モテキ。唐詩選ナトモ子ガ孫ヲ生シ孫ガ  
曾孫ヲ生テヨリ似夕顔色ヲ訓解ノヨウナ  
句解モアリ。故筆モアリ。絶句ノ所ハ國字解モ  
アリソノ上ニモ一夕頭書尻書ナトニテ雷同ス  
ル世ノ中ナレハ今ノ学問モヤガテ毛利風ノ下ニ  
ナルヘシ醫者ニ岡本氏ノアリシ故ニ生藥鋪ノ  
管家モ酒肆ノ酒保モ梳頭待詔モ醫者ニナラ  
ズモノハナシ。人ヲ惠ム下小ナルニ非ザレトニ夕人ヲ害  
スル下モ大ナリ。

○蘭臺井翁ノ在シ月先友東海平維章ト詔ラ



レキリ人後ニ坊間ニ梓行セシ和学辨ヲ見ルニ子  
ガハシキ下ハ我 邦ノ通史ヲセメテ網鑑ホド  
ニモ編集シテ板行スルナラハ世ノ助ケトナルヘ  
キニ先ツ死ヌ内ニ文集ヲ板行シクガル世ノ中  
ナレハ氣ノ付ヌモコトハリナリト云ヘリ所見  
アル人ト思ハル

○己カ著セル詩文ヲ集シテ梓行シ行フハ  
古人ニモアリ古人ハ嫌モ一リ自叙シタル人アルニ  
今世ノ文集ト云フモノヲ見レバトク師ハシラ  
ヌ弟子ガ隠シテ刻シタト云モ又ハ許サヌ再

三請フテ刻シタト云、或ハ思ヒモヨラヌ本  
讀<sup>ヤ</sup>劇<sup>キ</sup>齋<sup>ハ</sup>氏<sup>コ</sup>レニ連坐シア一リ仕組ノ知シ名  
ヲニテ側テ見テモ汗ノ流ル、ヨフニ思ハル、  
ニソノ人ハ却テ自喜シテ經国ノ天業不朽ノ  
盛事ト思フテ居ルハサリトハ恥ヲ知ヌナ  
リ允テ詩文ハ人ノ法ニナルヲコソ梓行スルモ  
ノナルニニ夕倭人ノ皮モロクニ脱タ内カラ何某  
先生文集初編ナドハ嘔噦嘔噦三十年未文  
集多クアル中ニ護國紫芝ハ識アル人ノ一ナレ  
ハ見ツベキトアリソノ他著述ノ為ニノミシタル

六赤羽ノ集ナリサミナカラ讀モヨシ讀タトテ  
何ノ害アルニ非ズ自餘ハ西ノ海ヘサラリト  
及古ニシタヘ

○儒家日用彙倫ノコト故ニ今日ノ行事即チ  
儒道ナリト會シテ國初ノ諸老ナトモ吟味ス  
ヘキトモソノ分ニ美置シテ今日ノ弊ト成ルト  
甚タ多シ此ト云フモ朱子ノ事物當然リ理ヲ道  
トセラレシテ取リナカヘタル故ヲコリタルモノ  
ナリ今時ノ儒者凡カ性理ヲ倡ル者ハ仁義禮  
知信物家ノ說ヲ云ナモノハ詩書禮樂ノツレニ

禮ノ字ヲロニハイヘト拜揖ノ仕方モシヲメテ多ク  
今春韓人來聘ノ時ニ或ル儒生ノ筆語ニ出テ  
タルモノアリ何如ナルトヲ書ヒテラセシヤコレハ  
宿構ニテ間ニモ合セタルトナラシ其後余カ友人  
ノ所ヘ素リテラツラシキ韓人ニ接セシトド  
誇リハナシテソルトテ揖ノ令子ニラ見セシルニ其  
十指ヲタニ合セ拳ノヨコナトヲラセシトテ友人ノ  
語リキサリトハ取テ知ラヌトナリ

○儒者ハ佛者ハ佛者ノ域中人ノ人ニシタ  
ハルニヨハ真ナレ病吏眼前ニ見セテハ雪峰禪

師ノ深川ニ在リシキ開山處下ヤラ營々  
ニ番ヲ撰言ヒ地ヲ平分ルモ人皆僧徒ナリ  
俗吏ノ雜レルナシ幡隨上人ノ新地ヒラカ  
シモハ土モ子砂モ子三本等ニテナ權貴  
ノ婦女市井ノ富商身ニ眼勞ヒテ事ヲ  
成就セザル人々未曾有ト稱シテ凡病夫  
ナトハ雪峰禪師ノ事ノ成ラヌ又万ヲコリ  
有リカタク覺ヘタリ莊園カ至言イデス  
俗言ニサレリトハコノ事ニアラスヤ各浮屠  
ノ道ノミナラズ以等ノトハ何レニモアルナリ

○人ヲバ見リテナラズニイト云フコトハナラヌモ  
ナリイカ成ル人モ先ツハ育ミテ見タキモノナ  
リ東坡ハ眼前ニ不好ノ人ナシト思ハレテコシ  
ヲ已ノ一病トヒリト見ヘタリ病又モ汝ノ一  
癖アリ汝斂テ世ニ得ルモナシセハコトノ持病ア  
ルヲ以テナリ

○儒者二十五等アリ家語儒行解禮記儒行  
扁ニ見ヘタリ孔子穎達カ正義ニ二十五儒ト云ヘリ  
ソノ中ニ毀乎而九全ス其寬裕有如此者トアリ  
鄭玄ガ注ニ已ノ大善ヲ用テ去リテ衆人ト小善

トト云ヘリ。家語ノ王肅注モ同義ナリ。蘭臺  
翁コシヲ學ブ所トスト培ラレキ。愷悌ノ言  
ト覺ユ。

○一先生アリ。性理家ノ言ヲ學ヒ都下ニ教授  
セラレシカ甚タ窮困ニ奴一人ヲ使ヘリ。或ル日  
先生臥ニ起キテ米櫃ヲウナチラシテ米スリ  
ナシト云ハレケレハ奴起テコレヲ見ルニ粒ヲ絶  
シタリ。大キニ驚キコハノ巾ニ目丁スリナシト  
仰セラレシ米ノ一粒モナキハサリトハアヤシ。瞬  
セメウナシ。那得ニ悉リ失ヒタテト云レケレバ。

先生ニカニシキ。顔色ニテイカニ下。節下レバトテ。  
ラレカ所ニ居ルカラハ其ホトノコハモハヤ合點ノ  
コキソウナモノシヤ。聖人ノ詞ハ追切ナラズト云  
フガアルト云レケレハ奴人キニ打笑ラモカラハ  
聖人ノ書ニ與ハ一字ハコガラヌカトナシレバ先  
生モ鬼角ノ挨拶ナシト。當時傳笑セリ。又コ  
レニ類シタル下アリ。余ガ相識ノ醫者アル  
名家ノ門人ニテ。侯國ニ仕ヘタリ。侯仲秋ノ宴  
トテ倡妓ヲ設ケ。時曲ヲ奏セシメラシシ。ソノ  
醫者モ宴ニアツカリ。酒醉ナル以徑大音声ヲ揚

ケテ舞妓ヲ唱来シテ。何コ妙伎ノ陽春白  
雪ト云ヘリ。一座所ヲ消テコシハ何事ゾ。酒狂  
ニテハコサラスカ目下ノ詞ニ何ト妙伎トヤラ云  
シモハ天狗テモ馬依ニ夕テ分サラヌカト同坐  
ノモノカ答テリノ所以ヲ聞ヒテ一同ニツツ笑  
ヒ出シテハ暫ハタトリテ舞モ止ニキ事ヲ解  
セヌニツツナレ前ノ性理家ハカリ笑シモセヌ  
ナリ。

○賈人ノ驛ニ居シニ乞丐ノ傀儡師ト云ヘルモノ  
前ニ立ちテ色々ノ徒言ヲ發シテ函ノ内ニ

龍ノ尾ヲ出シテ山猫ノ化物モニクワニ食セヨ  
ト云ヒテ大官人一丈ト云ヒニ時カノ賈人ノ  
妻一丈錢ヲ興ヘコトセシテ大声アケテ叱ミテ云  
ヒケルハ夕トヒ錢ハ山ノ妃クニ積置トモ那ノ乞  
食ニ興ルハ半文錢モナシ乞丐モ函ヲ下置キ  
夕カ一丈ノ錢渾家ノダサシズハソノ分ダシテ  
險整ニ某ニ興タマフヲトメラルハサリトテ  
ハ餘リニ忍ムナリト云ヒケレハ賈人イヨ怒  
レル態ニテコノ人一丈錢ハラレガ背カラシホ  
リ出シテ錢ニ毒ヲ添ノル有用ノモノナリ若

ソノ方か不成人ノ窮民ナラハナ文ヤ五文惜ム  
ニモ非レトソノ大男テカ外ニ活計モナキ様ニ  
山猫ノ化物トハ何事ノ乞丐言下ニ自新ノ志  
テ生シテ雙淚ヲ流テ感セリリノ後一年ホト  
アリテ貧郎トナリユノ所へ来リテ再生ノ恩  
トテ拜謝セリト性理家ノ氣質變化ノ證據  
ニ話シリコレカ氣質變化テアルヤツコハ病失  
カ知タリナレト陸機カ戴淵ヲ化シタルニ似テ  
イカニモ面白キナリ

○五六年前川越ノ高橋何某ノ家ニ在リシ日

数月ソノ父退休ト云ヘルモノ年九十有餘ナ  
リ鑿鑿ナリ病吏ノ問フ伺ヒテ問フヨウハ某  
小カヨリ農ヲ勤メ勞ヲ服ニ幸ニシテ富ヲ致  
ス老農ト稱スベキハ環ヲサレトモ何ニ知レルトモ  
ナシ晩年參禪シテ肥ノ頑極奥ノ雪峰兩和  
尚テ招キ奉リテ桑榆ノ晷ナシハ外忘ガリハ  
キヲテリトモ思ハス夕ニ死リテハ何如ト夕ツ子  
ニニ雪峰和尚ノ率海ハソノ時ニ臨テ夕ニ死タ  
ト思フテ丸子ト仰セラレタリカヨウナル事  
ハ儒家ナトニテハ不カク度置ナサレルトニヤ

願クハ教ヲ受ク。我々ハ儒者ノ一ナレバタ  
非義ノ死ヲスマシキトハカリ心カケテ一向  
ニ死ス時ハ何ト念フカヨイト云フ一ハ心付  
ナシ曾子ノ篋ヲ易ヘテ路ノ冠ヲ正スモ  
禮義ヲ先ザルバカリニテ心ハ何ヲモ念ハ  
ルニモキナリ。先ッソレヤシガ知リタルハコ  
シバカリト云ヒケシハ老人ソレヒニト推テ  
尋子ケリ。病夫云フヨフハ某モ都下ニ在  
リシハ雪峰禪師ニ竭シソノ無礙ノ道ヲ者  
タルヲ知シテ今ソノ老人ニ示サシタル語ヲ聞

の我レ答テ曰

ケハ安ラカナル成リヨキヲナルヘキニ何ト斗  
テ老人ハ某テ質問セララルヤ畢竟コノ念ニ  
テハ死タラハナルマシト疑ハル心アルト見ヘタ  
リソノナルニシキト疑フ心ハ何レノ處ヨリ生  
シ何か障礙ヲナスヲソ老人自省セラレヨ老  
人トカフノアサツ無シ病夫云フ老人ハ長  
壽ナシハ先ダキタル子孫モアルヘシ家富ニ為  
カケテ果サタ家事モアルベシ言ヒ遺シタキ  
事モ多カルヘシ又病ニ因テ吐瀉モアルヘシ腹  
痛モアルベシ頭痛モアルベシ呼吸短氣七竅

八倒ノ苦モアトハシ先ニ死ニ夕ル子孫ヲ思  
 ヒナシカケタル家事ヲ残念ニ思ヒ藥餌  
 ニ侍ヘル子孫ニハコトヲ抱ヘヨカシコトヲ抑ヘ  
 ヲニレハセツナヒ苦山人ト呼タテ、夕レカ  
 ケ吐ケ見クルニキ死ヲ成ミアトハ天狗  
 ガサラヲガ大車カ攪擾フガ農夫ノノサヘ  
 夫ハズバ死ニ安ジタル人ト稱スベシ  
 ノ死ヲト思フテ死ヌフナリ



金我山人病間長語卷一終

[Faint, mostly illegible handwritten text on the left page, possibly bleed-through from the reverse side.]



